

ローカル×グローバル 高校生の新たな学び方

Glacial

Action News

学校法人 森教育学園
岡山学芸館高等学校



SGA
2022.9
Vol. ②

御影高等学校の生徒と互いの研究を発表

Special Topic

東京へ一泊二日、神戸へ日帰りで、 他校の高校生と課題研究交流会を実施！

東京の3つの高校生と課題研究の内容を議論

夏期休暇中に、高校1・2年生の希望者が、2つの課題研究交流会に参加しました。

東京の郁文館グローバル高等学校・順天高等学校・上野学園高等学校との課題研究に関する交流会では、各自が進めている課題研究についてパワーポイントで発表し、改善点などを議論しました。また、「高校生で課題研究に取り組む意義」をディスカッションすることで、課題研究の意義を再度認識し、自分の意見を伝えること・相手の意見を受け入れることの重要性を実感しました。校内の生徒同士だけでは得られない新しい見方や考え方を知ることが多



くの刺激を得ることができ、今後の研究活動への意欲をより一層高めることができました。何より、全国で自分たちと同じように研究に取り組んでいる仲間と繋がれたことが一番の収穫でした！今後もお互いに切磋琢磨し、成長してくれることを期待しています。

学校間交流を通じて、同じgoal に向かう仲間を作る！

神戸交流会では、冒頭に御影高等学校課題研究担当の橋本先生より、「この交流で、同じ goal に向かって協働する仲間を見つけよう！」と激励がありました。御影高等学校2年生による口頭発表は、様々な試行錯誤が伝わってくる発表でした。本校生徒からもたくさんの質問が飛びました。質



問する力の大切さに気付けたことも大きな収穫です。さらには、本校の大谷先生から「ところで皆さんは今日自信をもって発表できましたか？」という厳しい質問も。発表者は戸惑いながらも必死に答えていました。

その後、御影高等学校1年生によるポスター発表を聞きました。地域の魅力について、堂々と熱意をもって聴衆に語りかけていました。本校2年生の発表も堂々とした発表で、研究内容に自信を持っている様子が見られました。確実に一歩成長することができました。

良い発表とは、熱意のある発表者と、知的な好奇心あふれる聴衆が、ともに作り上げていくものなのだを再確認しました。



Topic 1 同級生の取り組みをみて自らを振り返る ゼミ間交流会をして視野を広げました

グローバル課題研究Ⅱでは、ゼミ間交流会を行いました。普段はゼミ毎に分かれて活動を進めていますが、この日は19のゼミをすべてシャッフルして交流会を実施しました。生徒たちはこれまでの活動の進捗状況を他のゼミ所属の生徒たちに報告し、意見をもらいます。ゼミでは複数人でグループを形成して1つのテーマに取り組んでいるところもありますが、



この日は個人戦。生徒たちはこの日に向けてポスターやパワーポイントにまとめたりと、レイアウトやデザインをしっかりと考えて準備を行っていました。当日はゼミ長が主導のもと、同級生が取り組んでいる活動に対して、同じ目線で質問したり逆に質問に答えたりと、教員とのやり取りとはまた違う非常に密度の濃い時間を過ごしていました。



Topic 2 岡山大学との連携授業で、今すべきことを考える 外部講師の講義を受講しました

グローバル課題研究Ⅱの授業では、岡山大学法学部長の黒神直純教授による「研究をするということ～課題研究を進めるにあたって～」というテーマの講義を受講しました。その後希望者40名が、「多様性の時代を考える」というテーマで講義を受講しました。

前半は、課題研究の意義、テーマ選びやその方法など具体的に事例を交え

つお話しいただき、生徒だけでなく教員にとっても改めて「課題研究」について考える良い機会となりました。

後半は、「法律」の観点から、LGBTQや障がい者、在留外国人を切り口に、具体的な研究テーマを考えました。研究テーマ選定に頭を悩ませていた生徒にとっては、具体的なアドバイスが得られる有意義な時間となりました。



News!

受賞報告

サイエンスキャスル中国四国大会
優秀賞および中国銀行賞
3M 大平 留愛さん



大阪大学Future Global Leaders Camp
2022 金賞
2V2 川ノ上真乙さん



社会共創コンテスト2022 特別賞
3L 高崎信大朗さん



高校生ビジネスプラングランプリ 奨励賞

3L 高崎信大朗さん、3L 中井智晴さん、
3L 生本万平さん、3L 原田歩実さん

